

系所組別： 法律學系甲、丙組

考試科目： 日文

考試日期：0224，節次：4

※ 考生請注意： 計 100 分

一、試將下列日文翻譯成中文(20%)：

法律家がなぜ「六法全書」を常備している理由。我々、法律家はおそらく中身の九割以上読んだことのない「六法全書」を何故常時持っているか？「弁護士としての威厳を持った道具として持参している」といいますが、すくなくとも多くの良心的な法律家は「六法全書」を単に「威厳を持たせるための道具」として常備している訳ではありません。

「昔勉強したけれど忘れてしまった条文を思い出すため」、然し、思い出すだけだったら大きな六法全書を常備している必要はない。ただ思い出すだけなら、司法試験の受験で使った小さな六法ひとつあれば十分です。

実は我々法律家は法律の基本的な読み方をマスターしており、一度も目にしたことがない法律でも、条文を探し、条文を解釈する事によって、未知の領域の相談に対して的確な回答が出来るようにトレーニングされている（個人差は有る）ですから、いったい如何な相談が飛ぶ出してくるかは知らない法律相談を受けても、私達にとって「六法全書」こそが、唯一にして最後の拠りどころなのです。

「六法全書」に書かれている法律に基づかない回答は一つ間違うと「法律相談」ならぬ「人生相談」の回答と同じになってしまうのです。」

二、試將下列中文翻譯成日文(20%)：

不具直接可適用性之條約規定之效力

一個不具直接可適用性之國際法規範，並非毫無法拘束效力，一般而言，此種規範係針對立法者，因此立法者必須去規定應採取之具體措施。一個不具有直接可適用性之國際法規範，仍然是義務不變，所有之國家機關均必須在其各自之憲法權限範圍內加以遵守。因此，內國法作合乎國際法之解釋，被視為是最溫和之法適用手段，以確保國際法義務之遵守。

三、試以日文回答下列問題(30%)。(得以中文回答，但分數打折扣計算)

1. 日本では「春、夏、秋、冬」のことを「四季」と言います。その特色、各季節の行事を述べよ。
2. 又、台湾の四季は日本の四季と、どこに違いがあるか？説明すること。

四、試以日文回答下列問題(30%)。

1. 列出週一至週日 ex: 週一(月曜日) … / 週日(日曜日)
2. 以日文算數字 ex: 1, 2, … 10 / ひとつ、ふたつ …
3. 列出日式月例字句 列出 12 個 ex: 正月 1 月為睦月^{むつき} … 十二月為師走^{しわす}。

(四大題需全部作答)